

「特別防災セミナー」を新潟県・新潟市・JA 共済と共催で開催

～能登半島地震を振り返り、巨大地震への備えを学ぶ～

日本損害保険協会関東支部新潟損保会（会長：中村 知子・東京海上日動火災保険株式会社 新潟支店長）では、新潟県損害保険代理業協会および全国共済農業協同組合連合会新潟県本部とともに、10月26日（土）新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザにおいて、新潟県、新潟市、新潟県地震等災害保険・共済普及協議会の共催により「特別防災セミナー」を以下のとおり開催し、当日は134名の新潟県民が参加しました。

■特別防災セミナー

日時：2024年10月26日（土）14時～16時15分

場所：新潟ユニゾンプラザ大研修室

主催：日本損害保険協会関東支部、新潟県損害保険代理業協会、全国共済農業協同組合連合会新潟県本部

共催：新潟県、新潟市、新潟県地震等災害保険・共済普及協議会

後援：全国労働者共済生活協同組合連合会新潟推進本部、新潟大学、NHK新潟放送局、新潟日報社

<プログラム>

開会挨拶：服部 たか穂（日本損害保険協会関東支部委員長）

第1部講演：卜部 厚志氏（新潟大学災害・復興科学研究所教授）

「巨大地震を正しく恐れ、正しく備える～能登半島地震を振り返って～」

第2部講演：堀川 健一氏（新潟県防災局防災企画課長）

「新潟県の防災に関する県民行動指針」

第3部講演：中村 知子（日本損害保険協会関東支部新潟損保会長）

「地震保険・共済～巨大地震への経済的備えは大丈夫ですか？～」

閉会挨拶：小山 恒弘氏（新潟県損害保険代理業協会会長）

防災セミナーの開催に先立ち、主催者を代表して、当協会関東支部委員会の服部委員長から、本セミナーを通じて「自ら命を守るためにどうするのか、また、ご家族の命をどう守っていくべきかについて真剣に考えてもらいたいと思います。」と挨拶がありました。

第1部では、新潟大学災害・復興科学研究所の卜部教授から、能登半島地震被災後の輪島市、珠洲市の現状、新潟市の再液状化の現状、液状化の悉皆調査、液状化層の地質調査（液状化層の震度把握）、新潟市の津波浸水について講演があり、「能登半島地震では、新潟地震で液状化が起きた地域で再液状化が発生した。今後起きる巨大地震では、新潟地震、能登半島地震で液状化が起きた地域で再液状化が起こるということを知り、必要な備えをしてほしい」「国の液状化の罹災証明の判定（傾斜・沈下）は、現実と乖離している面もあるため、見直しが必要ではないか」と問題提起がありました。

第2部では、新潟県防災局防災企画課の堀川課長から、「自分が住んでいる地域に関心を持ち、過去にどんな災害が起きたか（災害履歴）、これからどんな災害が起きる可能性があるか（災害リスク）をハザードマップ等で平時からチェックしてとるべき行動を考えておくことが必要、また自助の備えとして保険も必要」と県民に訴えました。

第3部では、当協会新潟損保会の中村会長から、「被災者生活再建支援法による支援金や義援金だけでは、被災後の住宅・生活再建には十分ではないので、地震保険による自助による備えが必要である。能登半島地震では、新潟市西区を中心に液状化被害が多く発生したが、地盤の液状化によって建物に損害が生じた場合は、傾斜の角度や建物の沈下の深さに応じて地震保険の支払い対象になるので、加入の検討をしてみたらどうか」「また、災害に便乗した悪質な住宅修理業者とのトラブルには注意が必要である」とのアドバイスがありました。

最後に、新潟県損害保険代理業協会の小山会長から、「地震保険の火災保険に対する付帯率は、液状化の被害が大きかった新潟市西区では70%（新潟県全体では74%）となっており、付帯率が低い地域で液状化の被害に遭ってしまったという現実がある。これを教訓に損保代理店は、お客様に災害リスクを理解できるように説明し、リスクを損害保険に転嫁できるように進めていきたい」と挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

アンケートでは、9割以上の聴講者からわかりやすかった、役に立ったとの回答があり、「大学で研究している液状化の対策など詳しく知ることができた」「地震保険について詳しい説明があり、よく理解できた」などの感想が寄せられました。

また、家庭でできる防災対策についても、「今後何か対策を考える必要がある」（51%）や「すぐにでも対策を講じようと思う」（48%）」との回答があり、今回のセミナーが防災についての意識の変化や行動変容に結び付いたと認識できました。（アンケート結果4(2)参照）。

当支部では、引き続き、防災・減災に係る意識向上に向けて取り組んでまいります。



服部支部委員長 開会挨拶



新潟大学・卜部教授の講演



新潟県防災企画課・堀川課長の講演



中村新潟損保会会長の講演



新潟代協・小山会長 閉会挨拶



セミナーの様子

特別防災セミナーアンケート結果（抜粋）

セミナー参加者数 134
 アンケート回収数 83 アンケート回収率 61.9%

性別	男	女
	49	30

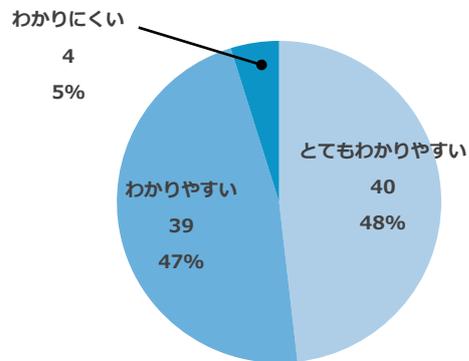
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
	3	0	1	9	14	26	30	83
比率	3.6%	0.0%	1.2%	10.8%	16.9%	31.3%	36.1%	

すまいの地域	新潟市内	県内新潟市外	新潟県外	合計
	73	8	0	81

1. 「巨大地震を正しく恐れ、正しく備える～能登半島地震を振り返って～」【新潟大学・ト部教授】

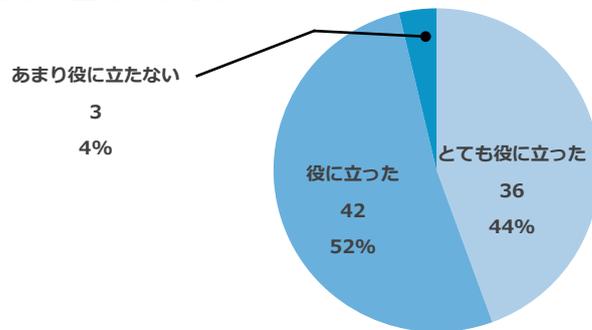
（1）内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	40
わかりやすい	39
わかりにくい	4
とてもわかりにくい	0



（2）地震に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

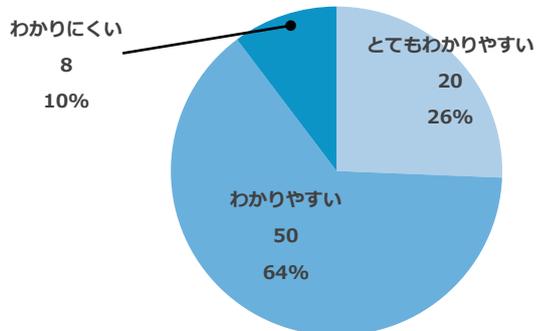
とても役に立った	36
役に立った	42
あまり役に立たない	3
全く役に立たない	0



2. 「新潟県の防災に関する県民行動指針」【新潟県・堀川課長】

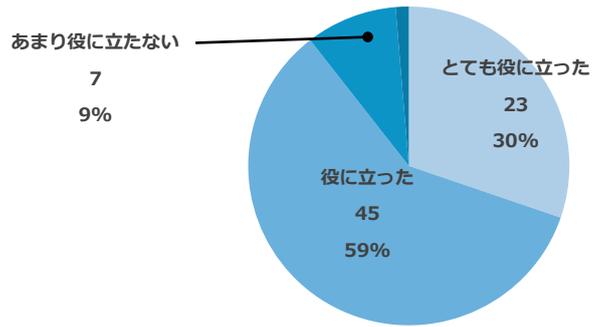
（1）内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	20
わかりやすい	50
わかりにくい	8
とてもわかりにくい	0



(2) 地震に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

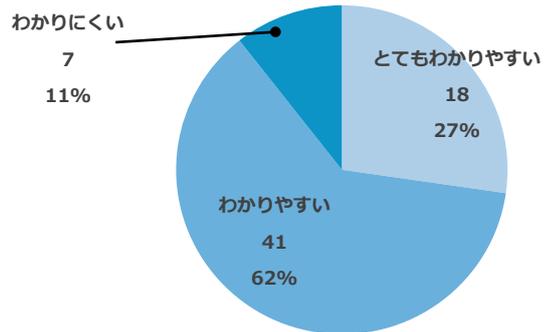
とても役に立った	23
役に立った	45
あまり役に立たない	7
全く役に立たない	1



3. 「地震保険・共済～巨大地震への経済的備えは大丈夫ですか？～」【新潟損保会・中村会長】

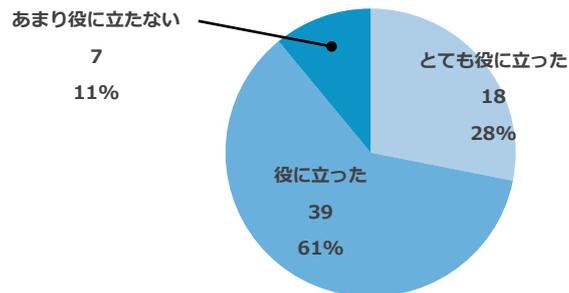
(1) 内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	18
わかりやすい	41
わかりにくい	7
とてもわかりにくい	0



(2) 地震に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

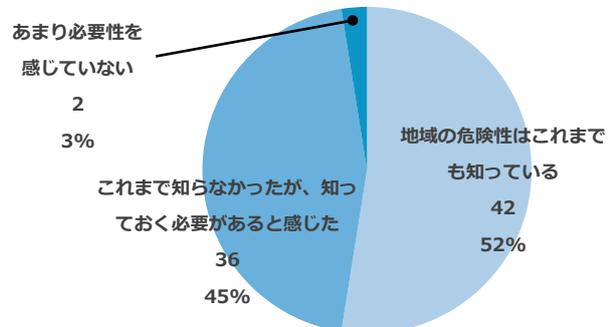
とても役に立った	18
役に立った	39
あまり役に立たない	7
全く役に立たない	0



4. 本日のセミナーを聞いて、ご自身の防災への意識がどう変わったかお聞かせ下さい。

(1) 自分が住んでいる地域の危険性を知ることについて

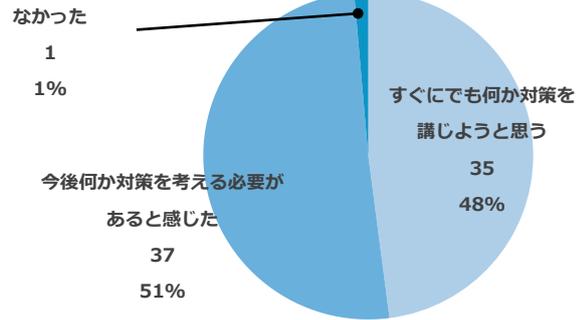
地域の危険性はこれまでも知っている	42
これまで知らなかったが、知っておく必要があると感じた	36
あまり必要性を感じていない	2
よく分からない	0



(2) 家庭で出来る防災対策について

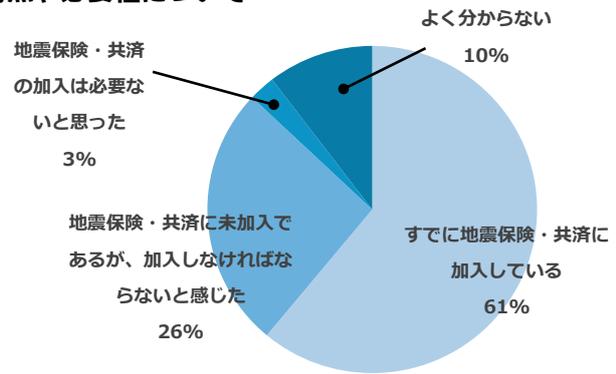
すぐにでも何か対策を講じようと思う	35
今後何か対策を考える必要があると感じた	37
特に対策の必要性は感じなかった	1
よく分からない	0

特に対策の必要性は感じ



(3) 自助としての地震保険・共済の加入の有無や必要性について

すでに地震保険・共済に加入している	47
地震保険・共済に未加入であるが、加入しなければならないと感じた	20
地震保険・共済の加入は必要ないと思った	2
よく分からない	8



(4) 新規で地震保険・共済に加入する際に、補助金があれば地震保険・共済に加入しますか。

保険料・掛金の1割～4割の補助金があれば地震保険・共済に加入したいと思う	47
保険料・掛金の5割の補助金があれば地震保険・共済に加入したいと思う	20
補助金の金額にかかわらず地震保険・共済には加入しないと思う	2
よく分からない	8

